



戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

創造技術の研究成果を活用しています。



4 5 6 2 2 9 7 5 2 0 9 3 8

ラベル: PET

農林水産省登録第24524号
有効成分: タバコカスミカメ幼虫及び成虫 100頭 / 100mL
その他の成分: 鉱物質、植物片、冷凍殺虫済シリコナマダラメイガ卵
性状: 淡褐色粒状、淡緑色植物、淡緑色幼虫及び成虫
包装: 100mL ポリエチレンテレフタレートカップ(100頭入り)

販売

株式会社アグリセクト 茨城県稲敷市沼田2629-1

製造場

株式会社アグリ総研 稲敷事業所 茨城県稲敷市沼田2629-1
株式会社アグリ総研 第二事業所 茨城県稲敷市下太田4611-6

入手後直ちに使用すること

貯蔵上の注意事項

● 本剤は天敵生物であり、生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないこと。

最終有効年月



使用上の注意事項

- 本剤の使用に際しては技術資料等を熟読し、十分な知識を有してから使用すること。
- 本剤はコナシラミ類及びアザミウマ類を捕食する天敵タバコカスミカメ幼虫及び成虫を封入した製剤である。
- タバコカスミカメはコナシラミ類及びアザミウマ類を捕食する天敵生物であるが、植物を吸汁する生物でもある。作物を加害する可能性があるため十分注意して使用すること。
- 曙虫が低密度の時、高密度放飼を行うと植物体に傷などが発生するおそれがあるため注意すること。
- タバコカスミカメ幼虫及び成虫の中の生存日数は豆で5日程度であるので、入手後直ちにこの点に留意すること。
- 容器内でタバコカスミカメ幼虫及び成虫を放飼すること。
- コナシラミ類及びアザミウマ類の生息密度が高くなつてから放飼では十分な効果が得られないことがありますので、対象害虫がまだ密度で散見された時点で最初の放飼をすること。
- 定植時または害虫類の発生初期より約1週間間隔で、タバコカスミカメの定着が確認されるまで数回放飼することが望ましい。
- タバコカスミカメの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布はさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 容器、空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 本剤を使用する施設の開口部へは、タバコカスミカメが野外へ逃亡しないように防虫ネットを張ること。
- 本剤を使用した作付終了時は、施設を締め切り内部の植物が枯死及びタバコカスミカメが死亡したことを確認した後に残渣を排出すること。